

どんぐり村の こみ・すく通信

令和4年8月10日発行

令和4年度 **第9号**

更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

個性豊かな
作品が
できあがり
ました。



食べる時に、楽しくなる
ようなお皿をつくろうね。

みんなの学校応援団の活動を紹介<その5> ひもひもねんどでお皿づくり

7月6日、上更別小学校の1, 2年生が学校応援団である坂井友子さんに講師として来ていただき、図工で「ひもひもねんど」を学びました。坂井さんは、以前更別村に住んでいらっしゃる陶芸家です。この日は粘土をひも状にし、それをくるくる巻いてお皿の形にしていく方法を教えてくれました。お皿をつくっている子どもたちに、「うまいね」「かわいいね」「いいね」など、プラスメッセージをどんどん伝え、子どもたちのやる気をアップさせていました。できあがった粘土のお皿は、坂井さんが自分の窯で焼き上げ、後日子どもたちに手渡される予定です。

農業を本物から学ぶ 小学3年生 見学・体験は小々連携で

小学3年生になると初めて「社会科」を勉強します。その中で「農家の仕事」という単元があり、更別村の自然を生かした畑作や酪農の仕事について学びます。

「畑作」

【7月8日】「高久農場を訪問」

更小・上更小3年が訪問し、保護者の高久さん、穴戸さんが対応。作っている芋やビートを実際に抜いて生育状況を確認させてくれたり、トラクターや防除用の機械等を見せてくれたりしました。更別村の農家1軒当たりの畑は大変広いなど、いろいろなことを教えてくださいました。



スーパーなどで
売られている食品
には、十勝で生産
されたものが入っ
ていますよ。

「酪農」

【7月20日】「更別農業高校牛舎を訪問」

更小・上更小3年が訪問し、更別農業高校畜産分会の3年生が講師を務めてくれました。「牛の胃の数」や「牛の体温」など、クイズ形式にして、楽しく学べるように工夫されていました。その後牛乳の手しぼり体験をさせてもらいました。



手しぼり体験の後、
機械で乳をしぼる。
「多くの人の愛情と協
力でできた牛乳です。
残さないで飲んでね。」

子どもたちを2
つに分け、2人の
講師からそれぞれ
お話をいただきました。



村内の酪農家はどん
どん減って現在は35軒
になっています。牛が健康
ならば、酪農家も幸せ。
やりがいもあります。



【7月12日】「畑作農家のお父さんが講師」

更別小学校に保護者の林さん、小椋さんが来校し、それぞれ子どもたちの質問に丁寧に答えていただきました。

【7月21日】「地域の酪農家の方が講師」

更別小学校に宿田恵子さんが来校し、子どもたちの質問に答える形で、酪農の絵本の絵や撮りためた写真、映像を使って、酪農の仕事のことを分かりやすく教えてくださいました。